

(株主通信)

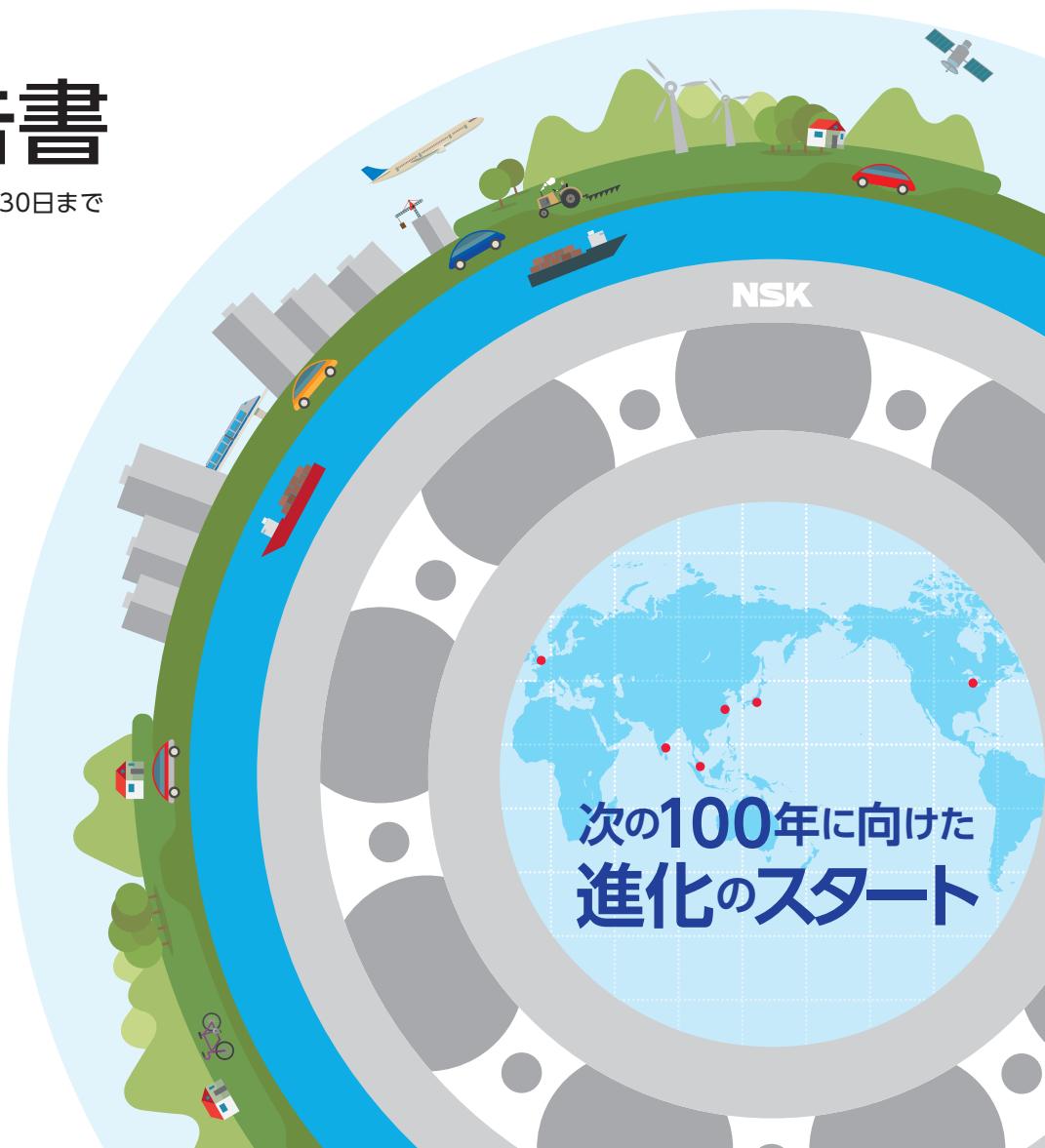
第156期 中間報告書

2016年4月1日から2016年9月30日まで

CONTENTS

- 1 企業理念・経営姿勢／
連結決算ハイライト
- 2 株主の皆様へ
- 3 セグメント別の概況
- 5 連結財務諸表(要旨)
- 6 連結業績の推移
- 7 ZOOM UP
第5次中期経営計画
- 9 NSKグループのCSR
- 10 会社情報／株式情報

日本精工株式会社



次の100年に向けた
進化のスタート

企業理念

NSKは、MOTION & CONTROLを通じ、円滑で安全な社会に貢献し、地球環境の保全をめざすとともに、グローバルな活動によって、国を越えた人と人の結びつきを強めます。

経営姿勢

- 1 世界をリードする技術力によって、顧客に積極的提案を行う。
- 2 社員一人ひとりの個性と可能性を尊重する。
- 3 柔軟で活力のある企業風土で時代を先取りする。
- 4 社員は地域に対する使命感をもとに行動する。
- 5 グローバル経営をめざす。

● 中間配当について

当期の中間配当金は下記のとおりです。

1. 中間配当金 **1株につき24円**
内訳 普通配当 14円
記念配当 10円
2. 中間配当の効力発生日
並びに支払開始日 **2016年12月1日(木)**

◎ 連結決算ハイライト

売上高

2016年3月期
第2四半期
連結累計期間

4,897 億円

前年同期比
△7.0%

2017年3月期
第2四半期
連結累計期間

4,556 億円

営業利益

2016年3月期
第2四半期
連結累計期間

485 億円

前年同期比
△43.7%

2017年3月期
第2四半期
連結累計期間

273 億円

当期利益(親会社の所有者)

2016年3月期
第2四半期
連結累計期間

326 億円

前年同期比
△39.0%

2017年3月期
第2四半期
連結累計期間

199 億円



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社第156期中間報告書(2016年4月1日から2016年9月30日まで)をお届けいたしますので、ご高覧のほどお願い申し上げます。

当社は、本年11月に創立100周年を迎えました。これまでの歴史を振り返り、次の100年に向け、社会から必要とされる企業として更なる飛躍と価値向上を目指していきます。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役 代表執行役社長 **内山俊弘**

連結決算の概況

当社は、2016年11月8日に創立100周年を迎えました。当社グループの企業理念の実現に向けて、創立100周年から10年後の2026年に目指していく姿を「NSKビジョン2026(あたらしい動きをつくる)」として策定しました。

この「NSKビジョン2026」の下、当社グループは2016年度から2018年度までの第5次中期経営計画を新たにスタートさせました。この中期経営計画では、「次の100年に向けた進化のスタート」をスローガンとし、「オペレーショナル・エクセレンス(競争力の不断の追求)」と「イノベーション&チャレンジ(あたらしい価値の創造)」を方針に据えて、持続的成長、収益基盤の再構築、新成長領域確立の3つの経営課題に取り組んでいきます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済を概観すると、日本経済は個人消費に底打ちがみられましたが、円高の進行もあり景気全般としては足踏み状態が続きました。米国経済は個人消費を中心に堅調に推移しました。欧州では、英国のEU離脱問題による先行き不透明感がありますが、ユーロ圏

を中心に景気の緩やかな回復傾向が続きました。また、中国の経済成長は減速傾向が続く一方、その他アジアの一部では回復の兆しがみられました。

このような経済環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,555億80百万円と前年同期に比べて7.0%の減収となりました。営業利益は273億28百万円(前年同期比△43.7%)、税引前四半期利益は265億11百万円(前年同期比△44.1%)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は198億69百万円と前年同期に比べて39.0%の減益となりました。

利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営方針の一つとしています。配当については、連結ベースでの配当性向30%を目安として継続実施することを基本とし、財務状況等を勘案して決定したいと考えています。この基本方針のもと、当期の中間配当金につきましては、1株当たり24円(普通配当14円+記念配当10円)で実施します。また、期末配当金については、1株当たり14円を予定しています。

● セグメント別の概況 (IFRS基準)

産業機械事業

売上高 **1,147** 億円
(前年同期比△16.0% ▼)

営業利益 **58** 億円
(前年同期比△61.7% ▼)

売上高



営業利益



産業機械事業
25.2%

売上高

■ 第2四半期の概況

産業機械関連需要は、新興国を中心とした景気減速の影響を受け減少しました。当社グループの状況を地域別にみると、日本では、工作機械向けを中心に減収となりました。米州はアフターマーケット向けの販売が減少しました。欧州においては、アフターマーケット向けの販売は増加しましたが、一般産機向けを中心に販売が落ち込みました。中国では、鉄道向けは増加したものの、工作機械向けや風力発電向けなどで減収となりました。その他アジアでは、電機向けを中心に売上高が減少しました。

このような地域別状況に為替変動(円高)の影響も加わり、産業機械事業の売上高は1,146億72百万円(前年同期比△16.0%)、営業利益は58億43百万円(前年同期比△61.7%)となりました。

産業機械事業では、今後も成長市場として期待できるインフラ関連のニーズ高度化に対して、NSKの技術提案力を発揮することで、市場プレゼンスの拡大を目指していきます。

製品使用例

歯科ハンドピースの用途

使用用途:

歯の治療で使用される切削工具
(エア駆動タイプと
モータ駆動タイプあり)

使用方法:



感染症予防対策のため「歯科医療における感染管理のためのCDCガイドライン2003」*で励行推奨

*米国疾病管理予防センター

その他
2.7%

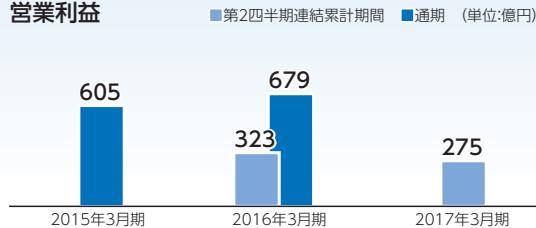
構成比

自動車事業
72.1%

売上高



営業利益



自動車事業

売上高 **3,286** 億円
(前年同期比△3.1% ↓)

営業利益 **275** 億円
(前年同期比△14.7% ↓)

■ 第2四半期の概況

自動車需要は、グローバルに緩やかな拡大が続きました。当社グループの状況を地域別にみると、日本では、トランスミッション向けを中心に増収となりました。米州は北米市場が堅調に推移し、電動パワーステアリング(EPS)・自動車軸受ともに増加しました。欧州は緩やかな回復が続きました。中国では、小型車優遇税制効果もあり堅調に推移しました。その他アジアにおいては、全般的に増加傾向が続きました。

このような地域別状況ではありましたが、為替変動(円高)の影響を受け、自動車事業の売上高は3,285億93百万円(前年同期比△3.1%)、営業利益は275億28百万円(前年同期比△14.7%)となりました。

環境と安全を軸として自動車の技術革新は急速に進展しており、動力源の多様化や自動運転へと向かう運動制御の進化など技術面での構造変化が加速しています。自動車事業では、これまで培ってきた技術を基に「走る・曲がる・止まる」といった自動車の基本機能の向上に、部品やシステム製品を通じ貢献していきます。

製品使用例

自動車の電動化によって軸受のマーケットは拡大しています。



四半期連結財政状態計算書

単位：百万円

科目	2017年3月期 第2四半期 連結会計期間 (2016年9月30日)	2016年3月期 連結会計年度 (2016年3月31日)
資産		
流動資産	473,455	511,253
現金及び現金同等物	153,162	175,515
売上債権及びその他の債権	175,455	182,332
棚卸資産	125,763	130,564
その他の流動資産	19,074	22,840
非流動資産	494,134	521,121
有形固定資産	299,976	323,116
無形資産	15,937	15,785
その他の非流動資産	178,220	182,219
資産合計	967,590	1,032,374
負債		
流動負債	281,837	293,247
仕入債務及びその他の債務	132,741	140,713
その他の金融負債	95,689	99,674
その他の流動負債	53,405	52,859
非流動負債	246,109	260,255
金融負債	171,284	179,654
退職給付に係る負債	34,839	38,125
その他の固定負債	39,985	42,476
負債合計	527,947	553,503
資本		
資本金	67,176	67,176
資本剰余金	79,598	79,603
利益剰余金	289,265	278,524
自己株式	△ 17,932	△ 3,949
その他の資本の構成要素	720	33,306
親会社の所有者に帰属する 持分合計	418,828	454,661
非支配持分	20,815	24,210
資本合計	439,643	478,871
負債及び資本合計	967,590	1,032,374

四半期連結損益計算書

単位：百万円

科目	2017年3月期 第2四半期 連結累計期間 (2016年4月1日 ～2016年9月30日)	2016年3月期 第2四半期 連結累計期間 (2015年4月1日 ～2015年9月30日)
売上高	455,580	489,735
売上原価	356,934	376,018
売上総利益	98,646	113,717
販売費及び一般管理費	65,354	65,638
持分法による投資利益	1,697	2,096
その他の営業費用	7,660	1,662
営業利益	27,328	48,513
金融収益	1,268	1,371
金融費用	2,085	2,469
税引前四半期利益	26,511	47,416
法人所得税費用	5,122	13,225
四半期利益	21,389	34,190
親会社の所有者	19,869	32,558
非支配持分	1,520	1,631

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	2017年3月期 第2四半期 連結累計期間 (2016年4月1日 ～2016年9月30日)	2016年3月期 第2四半期 連結累計期間 (2015年4月1日 ～2015年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,472	51,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 22,934	△ 17,828
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 33,640	△ 23,360
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 5,251	△ 919
現金及び現金同等物の増減額 (△：減少)	△ 22,353	9,062
現金及び現金同等物の期首残高	175,515	184,374
現金及び現金同等物の四半期末残高	153,162	193,436

※四半期連結財務諸表は、国際会計基準(IFRS)に基づいて作成しています。

2015年3月期は通期のみ国際会計基準(IFRS)に置き換えて表示しています。

国際会計基準(IFRS)の任意適用開始について

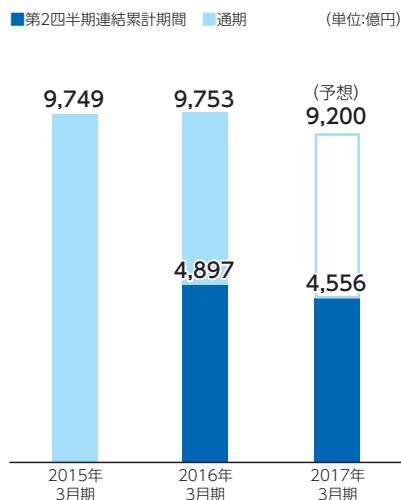
当社グループは、財務報告の標準化による経営効率の向上、資本市場における財務報告の国際比較可能性を高めることなどを目的として、第155期(2016年3月期)の有価証券報告書における連結財務諸表より国際会計基準(IFRS)の任意適用を開始しました。表示されている連結業績は、IFRSによる数値を掲載しています。

連結業績(IFRS)における主な変更点

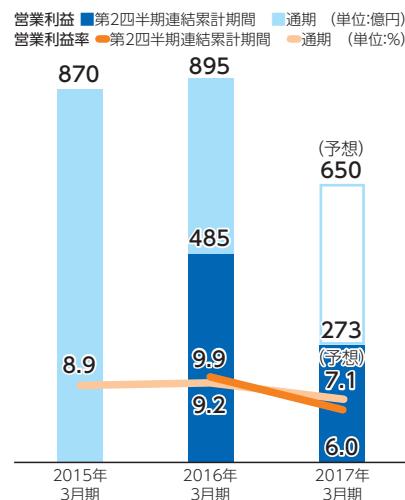
IFRSの損益計算書では、日本基準で営業利益に含めていなかった「営業外収益・費用」及び「特別損益」のうち、金融収支を除いて営業利益の構成項目として表示するように変更いたしました。

また、IFRSでは、日本基準における「経常利益」の概念がなくなりました。

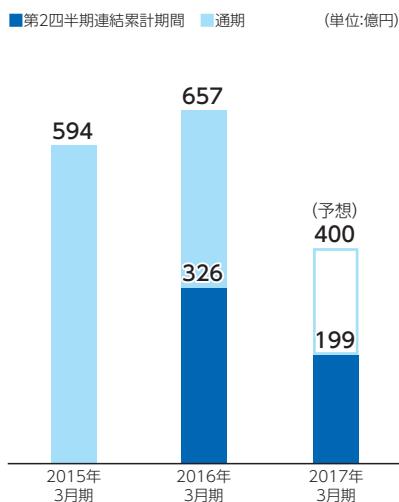
売上高



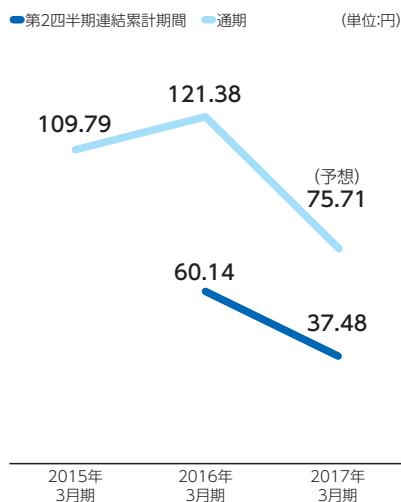
営業利益／営業利益率



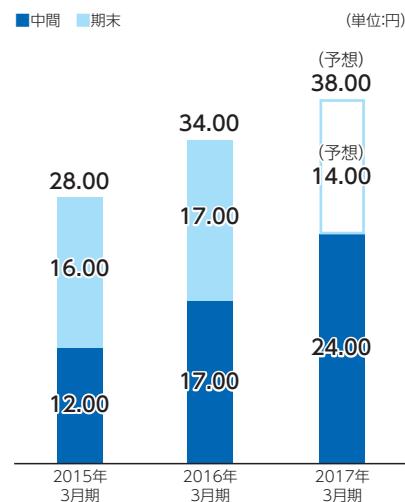
四半期(当期)利益(親会社の所有者)



基本的1株当たり四半期(当期)利益



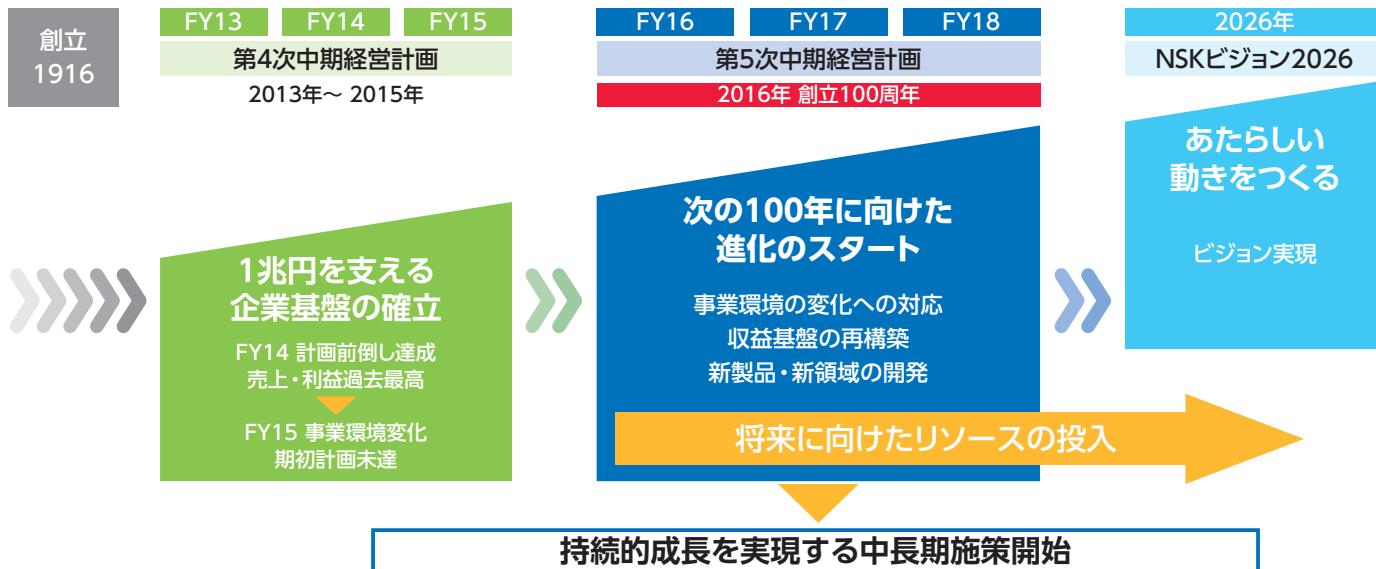
1株当たり配当金



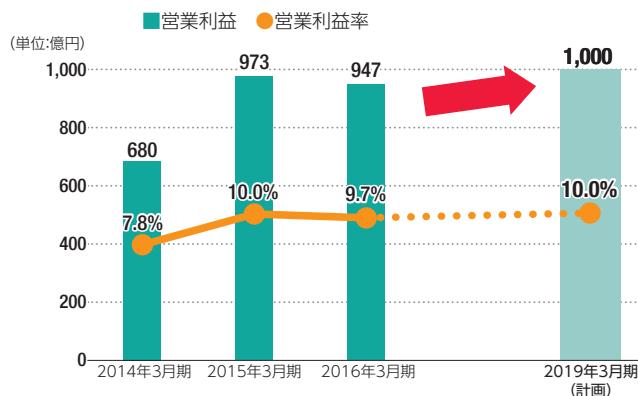
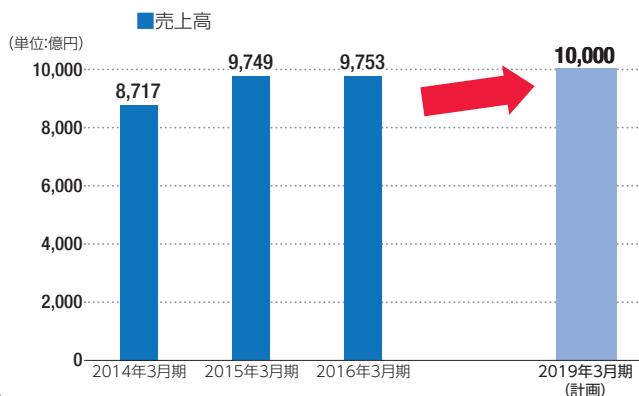
第5次中期経営計画を策定

当社は、創立100周年となる2016年度から始まる3ヵ年の中期経営計画をスタートさせました。

位置付け・方針



業績の推移と数値目標 (日本基準)



第5次中期経営計画の骨子

新中期経営計画では、「次の100年に向けた進化のスタート」をスローガンに掲げ、「オペレーショナル・エクセレンス(競争力の不断の追求)」と「イノベーション&チャレンジ(あたらしい価値の創造)」の2つを方針に据えています。この2本柱のもと、「持続的成長」、「収益基盤の再構築」、「新成長領域の確立」の3つの経営課題に取り組んでいきます。

NSKビジョン2026 あたらしい動きをつくる

次の100年に向けた進化のスタート

オペレーショナル・エクセレンス

競争力の不断の追求

- 事業の競争力の追求
- 効率経営の追求
- 人づくり、モノづくり

持続的成長 社会への価値創造 ステーク・ホルダーとの協働
収益基盤の再構築 収益力の強化・定着 モノづくり・品質・人材
新成長領域確立 中核分野での成長 新製品・新領域

イノベーション&チャレンジ

あたらしい価値の創造

- 次の成長への種まき
- モノづくりの革新
- 新商品、新領域技術の開発

自動車事業・産業機械事業
安全・品質・コンプライアンス
1兆円企業としての事業基盤

重点課題

産業機械事業

環境変化への対応と
ターゲット分野での拡大

オペレーショナル・エクセレンス

- ・ 市場環境変化への対応力・収益力強化
- ・ 商品開発力の強化

イノベーション&チャレンジ

- ・ 重点セクターへのリソース集中
- ・ 新しい付加価値・需要の創造

自動車事業

収益基盤強化と
将来成長への布石づくり

オペレーショナル・エクセレンス

- ・ ドライブトレイン事業拡大と収益のある成長
- ・ EPS顧客ポートフォリオの拡大

イノベーション&チャレンジ

- ・ 技術進化への対応(高効率/電動化/自動運転)
- ・ 下流アシストEPSの開発

第5次中期経営計画 数値目標(IFRS基準)

	2016年3月期 実績	2019年3月期 計画
売上高	9,753億円	1兆円
営業利益	895億円	1,000億円
当期利益(親会社所有者帰属)	657億円	700億円
営業利益率	9.2%	10.0%
ROE	14.3%	10.0%以上
ネット D/Eレシオ	0.23倍	0.3倍
為替レート	US\$ 120円 Euro 133円 中国元 18.9円	US\$ 105円 Euro 120円 中国元 16.7円

財務戦略・株主還元方針

財務基盤の安定

債券格付 A格 維持
ネット D/Eレシオ 0.3倍程度

安定した財務体質のもと
成長投資と利益還元を両立

収益を伴う成長

ROE 10%以上
成長投資 1,800億円/3年間

利益還元

配当性向30%目安
自己株式取得

NSKは、企業理念体系をCSRの指針と位置づけています。本業のビジネスを通じて、円滑で安全な社会への貢献や地球環境の保全のための活動を推進し、持続可能な社会の実現に貢献することをめざしています。同時に、従業員一人ひとりがNSKグループの役割をしっかりと認識し、ステークホルダーの視点に立って業務に誠実に取り組むことで、企業価値向上をめざしていきます。

🍀 創立100周年を機に社会貢献活動を推進

NSKグループは、地域の発展とともに成長していくことをめざし、世界中の事業所で社会貢献活動に取り組んでいます。

本年11月の創立100周年を機に、10月から12月までの3カ月間を社会貢献活動の強化期間に決めました。今後、国内外の事業所で活動をさらに活発化し、地域の発展にいっそう貢献していきます。

NSKの社会貢献活動の重点分野

1. 科学技術の振興 社会の繁栄を支える科学技術の振興に取り組む
2. 次世代の育成 未来を担う次世代の育成に取り組む
3. 地域との共存共栄 地域との共存共栄をめざした活動に取り組む

TOPICS

中国では、創立100周年記念活動の一環として、昆山市花橋政府と共同でNSKの中国統括拠点付近の川沿いに150本の桜の木を植樹し、4月22日のアースデイに記念式典を開催しました。今後、満開の桜が日中友好の象徴になることを期待しています。



🍀 代表的な6つのSRIインデックスに組み入れられています。

財務面だけでなく、環境面や社会面からも高い評価を持つ企業は、中・長期的に安定した成長が期待できることが認知され、社会的責任投資(SRI = Socially Responsible Investment)が幅広い投資家から注目されるようになってきました。NSKは、世界的に信頼性が認められた6つの代表的なSRIインデックスに組み入れられています。(2016年9月30日現在)



<http://www.sustainability-indices.com/>



FTSE4Good

<http://www.ftse.com/products/indices/FTSE4Good>



<http://forumethical.org/content/home.html>



<http://www.vigeo.com/csr-rating-agency>



<http://www.oekom-research.com/>



<http://www.morningstar.co.jp/sri/index.htm>

会社概要

会社名	日本精工株式会社 (NSK Ltd.)
本社	東京都品川区大崎一丁目6番3号
設立	大正5年(1916年)11月8日
資本金	671億円
従業員数	7,730名 (NSKグループ 31,544名)
主な事業内容	産業機械軸受、精密機器関連製品、自動車軸受、自動車部品の製造及び販売

役員

取締役会長	大塚 紀男	取締役	榎本 俊彦
取締役(代表執行役社長)	内山 俊弘	取締役*	釜 和明
取締役(代表執行役専務)	野上 宰門	取締役*	田井 一郎
取締役(代表執行役専務)	鈴木 茂幸	取締役*	古川 康信
取締役(代表執行役専務)	神尾 泰宏	取締役*	池田 輝彦
取締役(執行役専務)	荒牧 宏敏	※社外取締役	
取締役(執行役常務)	新井 稔		



執行役専務	麓 正忠	執行役	伊藤 裕之
執行役常務	波田 安継	執行役	ユルゲン・アッカーマン
執行役常務	後藤 伸夫	執行役	高山 優
執行役常務	杉本 直樹	執行役	伊集院誠司
執行役常務	井上 浩二	執行役	三田村宣晶
執行役常務	池村 幸雄	執行役	山之内 敬
執行役常務	鈴木 寛	執行役	福田 和也
執行役常務	宮崎 裕也	執行役	山名 賢一
執行役常務	エドゥアール・フラン	執行役	市井 明俊
執行役常務	池田 新	執行役	ステファン・ベックマン
執行役常務	小林 克規	執行役	石川 進
執行役常務	村田 一成	執行役	新子 右矢
執行役常務	篠本 正美	執行役	吉清 知之
執行役常務	織戸 宏昌	執行役	郁 国平
執行役常務	入谷 百則		

株式の状況

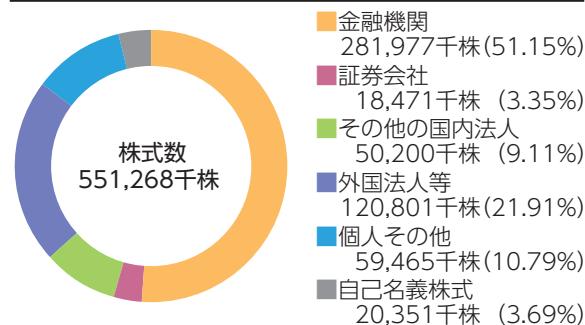
発行可能株式総数	1,700,000,000株
発行済株式総数	551,268,104株
株主数	29,251名

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	37,635	7.08
明治安田生命保険相互会社	27,626	5.20
富国生命保険相互会社	27,600	5.19
日本生命保険相互会社	27,518	5.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	27,145	5.11
株式会社みずほ銀行	18,211	3.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社トヨタ自動車口	10,709	2.01
トヨタ自動車株式会社	10,000	1.88
株式会社三菱東京UFJ銀行	8,675	1.63
日本精工取引先持株会	7,520	1.41

(注) 持株比率は、自己株式(20,351千株)を控除して計算しています。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
配当の基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話センター 0120-288-324 (フリーダイヤル)

同取次所	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店
公告方法	電子公告にて行います。 http://www.jp.nsk.com/ 但し、事故その他やむを得ない事由 によって電子公告をすることができ ない場合は、東京都において発行す る日本経済新聞に掲載する方法によ り行います。

- 1.住所変更等については、株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行にお申出ください。
- 2.未受領の配当金については、みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店でお支払いします。

NSKホームページの投資家情報サイトのご案内

➤ 投資家情報 <http://www.jp.nsk.com/investors/>

NSKは「投資家情報」サイトに社長メッセージや決算説明資料、財務・業績情報、株式情報などを掲載しています。また株主の皆様により深くNSKのことをご理解頂くために開示情報の内容充実に努めています。

主な内容

- ◎ 社長メッセージ
- ◎ 業績ハイライト
- ◎ 株主総会
- ◎ 個人投資家の皆様へ
- ◎ よくあるご質問
- ◎ セグメント情報
- ◎ 株式・格付情報
- ◎ IRイベント、IR資料集
- ◎ 電子公告
- ◎ IRに関するお問い合わせ



NSK

日本精工株式会社
ホームページアドレス
▶ <http://www.jp.nsk.com/>

UD
FONT

VEGETABLE
OIL INK

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC
www.fsc.org
FSC® C022915